

2024年8月29日

登録教習機関 各位

一般社団法人 全国登録教習機関協会
専務理事 佐々木 元茂

高所作業車運転技能講習 (初任時) 講師技能向上研修開催のご案内

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

当協会の実施する研修につきましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当協会では、標記研修の開催を下記により実施することといたしましたので、ご案内をいたします。

優れた内容と質の高い技能講習を受講者に提供することは、登録教習機関として重要なテーマです。この研修は新任講師（初任時）を対象として、講師の技能向上をめざした研修としておりますが、講師経験年数に係わらず対象を広げてお申込みいただき、貴機関の教育方法の見直しや改善にお役立ていただくよう、多くの方々のご参加をお待ちしています。

また、新たに高所作業車運転技能講習の登録教習機関となられた機関におかれましても、是非講師の方のご参加についてご検討くださいますようお願い申し上げます。

なお、ご参加いただきました皆様には、当協会で作成しました高所作業車運転技能講習実技指導要領テキストとDVD 補助教材を進呈しますので、貴機関での講師研修会等で実技指導の統一化のためにご活用いただけるものと思料いたします。

【この研修の主な内容】

① 目的

- ・講師としての基礎的な知識と情報の入手
- ・学科/実技の教え方の習得と指導能力向上
- ・登録教習機関の講習内容の充実とレベル斉一化

② 研修の内容

【学科】・各種教育技法及びレッスンプランの作成

- ・メーカー講師による最新機械及び安全装置の情報
- ・受講者の講義演技と技術指導
- ・関係法令体系の再確認と効果的な講習方法
- ・災害事例研究とリスクアセスメント演習

【実技】・全登協「実技指導要領」に基づく効果的な指導方法

- ・トラック式高所作業車の操作
- ・採点方法、減点基準の通達の確認と採点演習
- ・グループ討議を通じた採点方法の再確認・標準化

記

1. 研修期間 2025年1月16日(木) 9:00~17:00
 2025年1月17日(金) 8:30~16:00
2. 開催場所 株式会社 タダノ教習センター 東京教習所
 〒136-0082 東京都江東区新木場 2-7-1
 https://tadano-license.co.jp/school_tokyo
 添付 タダノ教習センター 東京教習所 地図を参照ください。
3. 定 員 20名 ※定員になり次第締め切りとさせていただきます。
4. 研修内容 添付1「研修スケジュール」を参照ください。
5. 受講料 会員価格 40,000円(教材費、消費税を含む)
 非会員価格 65,000円(同 上)
6. 申込方法及び問合せ先
 【申込方法】
 全国登録教習機関協会のHP → 研修会 →
 高所作業車運転技能講習 → 申込フォームに必要事項を記入の上送信ください。
 【申込期限】 2024年12月16日(月)
 受講申込みの受付は先着順とし、定員になり次第締め切らせていただきます。
 【申込み及び問合せ先】
 一般社団法人 全国登録教習機関協会
 〒108-0014 東京都港区芝 5-27-14 小川ビル 6F
 TEL:03-3456-4787 FAX:03-3456-1304
 E-mail: kenshu@zentokyo.or.jp 和田宛
7. 宿 泊
 宿泊が必要な方は、各自で手配をお願いいたします。
 研修当日は所定の時間(開始15分前 8:45)までに、各自、研修場所にご参集ください。

 【ご参考】：
 最寄りのホテル：
 ① アパホテル&リゾート 東京ベイ潮見
 〒135-0052 東京都江東区潮見2丁目8番6号
 <https://www.apahotel.com/resort/shiomi/>
 ② JR 東日本ホテルメッツ東京ベイ新木場
 〒136-0082 東京都江東区新木場 1-6-1
 <https://www.hotelmets.jp/shinkiba/>

8. 昼 食

当日の朝、お弁当（@450円）の注文を取らせていただきます。

9. 受講案内の送付

・原則として、開講日の約10日前までに受講案内等をメール送信いたします。

10. 受講料の支払方法等

受講料の（適格）請求書を発行いたします。

※請求書は、申込締切り後 受講票と同時にメール添付にて送付いたします。

捺印は省略しております。

受講料は、**開催日の2週間前を目途に**、下記口座にお振込をお願いいたします。

振込先：みずほ銀行 芝支店 普通預金 口座番号 2890991

口座名義 一般社団法人 全国登録教習機関協会

シヤゼ ノコトウキョウカクキョウカク

- ① 都合により入金が遅れる場合はご連絡ください。
- ② 銀行振込の場合は、振込金受領書をもって領収書に代えさせていただきます。
なお、振込手数料はご負担願います。
- ③ 申込内容等の変更(受講者の変更等)の場合には、当協会にご連絡ください。
- ④ また、原則としまして開催日の1週間前以降のキャンセルに伴う参加費返納には応じかねますのでご了承ください。(除く、当協会都合での中止・延期及び他の研修への振替を希望する時)

11. その他

タダノ教習センター 東京教習所の駐車場の駐車数が限定的（事前完全予約必要）な為、通常講習の受講生を優先致しますので、自家用車でのご来場はご遠慮ください。公共交通機関にてご来場いただけますようご理解のほどよろしくお願いいたします。

※ご来場方法は、添付 タダノ教習センター 東京教習所 アクセス方法をご参照ください。

【都バス】：

新木場駅より①番 若洲キャンプ場行き、又は②番 新木場循環で3つ目の東千石橋下車 徒歩 10分

【徒歩】：

新木場駅より千石橋渡る 25分

【タクシー】：

新木場駅タクシー乗場より約7分

【レンタサイクル】：

レンタサイクルが利用できます。(新木場駅⇄タダノ教習センター)

新木場駅より千石橋渡る 10分

※事前に公式アプリ登録が必要 「サイクルシェア 東京」で検索ください。

以上

タダノ教習センター 東京教習所 地図

株式会社 タダノ教習センター 東京教習所

〒136-0082

東京都江東区新木場二丁目7番1号

TEL 03-3522-1717

https://tadano-license.co.jp/school_Tokyo



アクセス

【都バス】新木場駅（有楽町線・京葉線・武蔵野線・りんかい線）より

①番 若洲キャンプ場行き又は、②番 新木場循環で3つ目の東千石橋下車 10分

【徒歩】新木場駅より千石橋を渡る 25分

【レンタサイクル】新木場駅より千石橋渡る 10分

※レンタサイクルが利用できます。（新木場駅⇄タダノ教習センター）

インターネットで『サイクルシェア 東京』検索下さい

公式アプリにて事前登録が必要です。

<https://docomo-cycle.jp/tokyo/>



詳細なアクセス方法は、タダノ教習センター東京教習所のホームページに記載されています。

参照してください。 https://tadano-license.co.jp/school_Tokyo

尚、駐車場の駐車台数が限定的であり、また【事前完全予約制】通常講習の受講生を優先いたしますので、車でのご来場はご遠慮ください。

高所作業車運転技能講習（初任時）講師技能向上研修スケジュール

2025年1月16日～17日 於）株式会社 タダノ教習センター 東京教習所

研修項目		講師	研修時間
第 1 日 目 （ 学 科 研 修 ）			
1	開講式及びオリエンテーション	事務局	9:00～9:10 (0:10)
2	自己紹介	全 員	9:10～9:30 (0:20)
3	講師の役割と教育技法の活用	全登協	9:30～10:30 (1:00)
	① 講師の役割とは ② 教育技法とは		
休 憩			10:30～10:40 (0:10)
4	インストラクション技術の向上について	同 上	10:40～11:40 (1:00)
	① インストラクション技術習得の必要性 ② 効果の高い講習を行うためには		
休 憩（昼食）			11:40～12:30 (0:50)
5	高所作業車の専門知識	㈱タダノ教習センター 東京教習所 講師	12:30～14:00 (1:30)
	①高所作業車の歴史・新技術・新機種の紹介 ②高所作業車における安全装置の開発の経緯		
休 憩			14:00～14:10 (0:10)
6	教え方・レッスンプランの作り方	全登協	14:10～15:10 (1:00)
	① 教え方・レッスンプラン作成の目的と必要性 ② 受講者の代表が約5分程度の演技 ③ 演技に対し受講者による講義演技の評価と情報交換		
休 憩			15:10～15:20 (0:10)
7	関係法令・災害事例	同 上	15:20～16:50 (1:30)
8	質疑応答	全 員	16:50～17:00 (0:10)
第 2 日 目 （ 実 技 研 修 ）			
9	オリエンテーション	事務局	8:30～8:40 (0:10)
10	実技研修 I（基本操作）	タダノ教習センター 東京教習所 講師	8:40～10:10 (1:30)
	①実機にて各部の名称、操作方法、（含む、上部、下部） 主要諸元の説明		
	②インストラクターによる基本操作模範演技（始業点検・エンジ始動 アウトリガーの張り出し、ブーム、作業床の操作、他） ③受講者による基本操作の演技		
休 憩			10:10～10:20 (0:10)
11	実技研修 II（応用操作）	同 上	10:20～11:50 (1:30)
	①インストラクターによる応用操作の模範演技 （スタート位置から定められた方法により作業床の昇降等の操作） ②受講者による応用作業の演習 ③各受講者間における情報交換		
休 憩（昼食）			11:50～12:40 (0:50)
12	実技採点の進め方の確認	同 上	12:40～13:40 (1:00)
	①講師による通達及び全登協の「減点基準」の説明 ②代表受講者による演技と受講者による採点 ③講師による採点結果の説明及び「減点基準」についての情報交換		
13	実技採点演習	同 上	13:40～15:10 (1:30)
	①インストラクターによる「実技演技」を受講者全員が採点演習 ②「採点（減点）結果」の差異について要因分析（グループ討議） ③インストラクターによる「演技」の再現と見落とし箇所の再確認 （再確認の上、採点基準等の斉一化を図る）		
休 憩			15:10～15:20 (0:10)
14	総括質疑	全 員	15:20～15:50 (0:30)
15	閉講式・修了証交付	事務局	15:50～16:00 (0:10)

高所作業車運転技能講習(初任時)講師技能向上研修カリキュラム

(研修のねらい)

この研修は、登録教習機関における講師経験3年未満の新任(初任)の講師を対象として、技能講習の学科と実技の両科目について、講師として身につけるべき基礎的な素養を習得することを目的とする研修です。

(到達目標)

この研修の受講を通じて、高所作業車の運転に関する基礎的な知識、情報を習得し、併せて、教科目の教え方を体得したうえで、この教科目をスムーズに教えることができること。

(第1目) 学科研修			
	研修科目	研修内容	時間
1	オリエンテーション (学科研修カリキュラムの全体構成、各研修科目のねらいと内容を概説する。)		10分
2	自己紹介		20分
3	講師の役割と教育技法の活用 ◆講師の役割とは ◆教育技法とは何か 視聴覚教材の特徴・活用 など	① 各種教育技法の種類・有効性と長所と短所について解説し、学科講習で採用する場合のメリットを習得する。 ② 教育技法を使用して学科講習を行う場合のやり方とその効果について紹介する。 特に視聴覚教材(パワーポイント等)の効果的な活用方法について解説する。	60分
休 憩			
4	インストラクション技術の向上 ◆インストラクション技術習得の必要性とは ◆質及び効果の高い講習を行う 為には	① インストラクション技術向上の目的、意義(必要性)を理解する。 ② インストラクション技術を向上させるためのチェックポイント等を解説する。 上手な話し方・効果的な話し方の要点等を解説する。	60分
休 憩			
5	高所作業車の専門知識 ◆メーカー講師による説明	① 高所作業車の歴史・最近の機械装置の新技術・新機種と実情を紹介する。 ② 安全装置等の変化の推移と各システム等の構造的特徴を紹介する。	90分
休 憩			
6	教え方・レッスンプランの作り方 ◆教え方・レッスンプラン作成の目的と意義(必要性) ◆受講者による講義の演技 <u>説明は行わず実演に特化する。</u>	① レッスンプラン作成によるメリットを解説する ② レッスンプラン作成の基本を解説する ③ 受講者代表者に5分程度の講習の実演をしてもらい、他の受講者は演技を採点する。 ④ 実演に対し受講者による評価と意見交換を行う。 ⑤ インストラクターによる評価を行う。	60分

休 憩			
7	関係法令・災害事例	① 「関係法令」講義時、特に受講者に伝えておきたい法令等を紹介する。 ② 災害事例研究の必要性及びリスクアセスメントの手法を概説する。	90分
8	質疑応答		10分
(第2日目) 実技研修			
1	オリエンテーション (実技研修の目的・研修の進め方を説明する。)		10分
2	実技研修 I ・ 基本操作	① 実機にて各部の名称、操作方法(含む、作業装置、下部走行体)、主要諸元の説明 ② インストラクターによる基本操作の模範演技(始業点検、エンジン始動、アウトリガー張り出し、ブーム、作業床の操作、他) ⑤ 受講者による基本操作の演技	90分
休 憩			
3	実技研修 II ・ 応用操作	① インストラクターによる応用操作の模範演技(スタート位置から定められた方法による作業床の昇降等の操作) ② 受講者による応用操作の演習 ③ 各受講者間における情報交換	100分
休 憩			
4	実技採点の進め方	① 実技試験の採点は、通達により「減点基準」が定められているが、それらの再確認と各登録教習機関における「減点基準」に係る情報・意見交換を行う。	60分
休 憩			
5	実技採点演習	① インストラクターが故意にミスをした「演技」を行い、受講者全員が全登協編の採点表に基づき採点を実施する。 ② グループに分かれて減点結果の差異について、その要因等の分析討議をする。 ② インストラクターが故意にミスした「演技」を撮影したビデオにより再現し、見落とし箇所の再確認を行い、採点基準の斉一化を図る。	90分
休 憩			
6	総括質疑		20分
7	閉講式・修了証交付		10分